研究主題　　地域の教育力を生かした豊かな心の育成

～家庭や地域との継続的な連携・協働を通して～

提言者：杵島郡教頭会　白石町立須古小学校　　江口佐智子

１　主題設定の理由

グローバル化、情報化、少子高齢化など、急速に変化する今の社会において、子どもたちには持続可能な社会の担い手として未来をたくましく生きる力が求められている。そのため、学校では、子どもたちが社会で自立し、他者と連携・協働しながら地域の課題解決を主体的に担う力を身に付けられるように、個々の課題や社会の多様な課題に対応した教育活動を展開し、子どもたち一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を育成していくことが重要となる。

杵島地区は、白石町（小学校８校、中学校１校)、江北町（小学校１校、中学校１校)、大町町（義務教育学校１校）の12校で構成されている。白石町の中学校は、令和６年度４月から統合して1校となり、令和８年度には、白石町有明地区の小学校統合も予定されている。地区内の全ての学校が学校運営協議会を設置しており、学校・家庭・地域が連携し、地域の力を生かした取組や体験活動を行っている。しかし、各学校にコロナ禍を経験し家庭、地域連携の課題があり、副校長・教頭の果たす役割は非常に重要である。

そこで、本研究の主題である「豊かな心の育成」を「持続可能な社会の担い手として地域や社会のために考えることができる児童生徒の育成」と定義し、社会に主体的にかかわろうとする子どもたちの育成を目指した持続可能な家庭や地域との連携の副校長・教頭としてのかかわり方を探っていきたいと考え、この研究主題を設定した。

２　研究のねらい

子どもたちの社会参画意識の向上を目指して、学校・家庭・地域の参画と協働による継続的な地域連携を推進するための副校長・教頭としてのかかわりを明確にする。

３　研究の経過（計画）

⑴　１年次（令和５年度）
- 児童生徒及び教職員の意識調査
- 研究の視点の決定

⑵　２年次（令和６年度）
- １年次に確認した課題に対する改善・交流

⑶　３年次（令和７年度）
- 学校・家庭・地域の参画と協働による継続的な地域連携を推進するための副校長・教頭としてのかかわり（まとめ）

４　研究の概要と成果

⑴ 児童生徒の意識調査と現状の確認

令和６年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙で「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の質問に対し考察を行った。

【表１】令和６年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」

校種	番号	学校	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小	1	A	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%
小	2	B	27.8%	61.1%	5.6%	5.6%
小	3	C	26.7%	60.0%	13.3%	0.0%
小	4	D	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
小	5	E	35.7%	42.9%	21.4%	0.0%
小	6	F	58.1%	35.5%	6.5%	0.0%
小	7	G	29.2%	66.7%	4.2%	0.0%
小	8	H	28.6%	48.6%	22.8%	0.0%
小	9	I	40.0%	35.3%	16.5%	8.2%
小	10	J	28.2%	59.0%	5.1%	7.7%
小学校		県	38.8%	46.5%	11.6%	3.0%
		全国	36.8%	46.7%	12.9%	3.5%
中	11	K	30.5%	48.3%	19.2%	2.0%
中	12	L	29.0%	41.9%	27.4%	0.0%
中	13	M	22.9%	57.1%	17.1%	2.9%
中学校		県	38.8%	46.5%	11.6%	3.0%
		全国	36.8%	46.7%	12.9%	3.5%

令和６年度全国学力・学習状況調査の結果から、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあるか」という質問に対し、「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、令和５年度と比較して概ね上昇していることが分かった。

地域の特性や学校の種類による違いはあるものの、「地域への貢献活動の推進」と「持続可能な地域連携活動の整理」を重視し、児童生徒が地域のために活動できる場や機会を確保し、それらの活動の価値を認識できるようにしたことが、意識向上につながったと考えられる。特に大きく数値が向上した学校では、副校長・教頭がカリキュラム・マネジメントの推進を目的として、担任や教科担当者に対し、地域連携年間計画や地域人材活用計画を活用するよう依頼し、その内容を職員間で共有したことが効果的だった。また、担任が地域連携活動後に学んだことを振り返り、地域へ発信する取組を丁寧に行ったことも、児童生徒の地域貢献への意識を高める要因となった。

(2) 教職員の意識調査

令和７年２月に杵島郡の小・中学校教職員に家庭や地域との連携に関する意識調査を行った。昨年度の調査と同じ質問項目で実施し、「そう思う」「どちらかというとそう思う」と回答した教職員の割合を比較した。「子どもの主体性を高めるよう工夫をし、取り組めたか」の質問では、94%だった。「子どもに付けたい資質・能力を意識して取り組めたか」の項目は、99%であった。昨年度と比較すると、特に中学校で意識の向上が見られた。新白石中学校を開校して、新しく学びを構成するときに、子どもを中心に据えて考えている教職員の姿が見える。

しかし、「子どもたちの地域貢献の意欲を高めるよう工夫をし、取り組めたか。」の項目は70%、「教師自身が主体的に地域の方と連携(ねらいを伝える等)に取り組んだか」の項目は67%で、昨年度とほとんど変わらなかった。また、「地域人材・資源の活用を意識して取り組んだか」の質問に対しては62%であった。地域連携を進めていくことが子どもたちの社会参画意識の向上につながっていくことを教職員が実感できるよう、今後も教頭として教職員に働き掛けていく必要があると思われる。

(3) 課題及び視点設定の理由

① 研究の課題

学校・家庭・地域の参画と協働による継続的な地域連携を進めていくには、副校長・教頭としてどのような手立てをとればよいか。

② 研究の視点

家庭や地域と協働及び連携した体験活動を教育課程に有機的に位置付け、副校長・教頭のかかわりの意義を共有する。

コロナ禍で家庭や地域と連携した活動の機会が減り、児童生徒の社会参画意識が希薄化し、地域が孤立感を感じていること、職員は家庭や地域との連携方法について不安感や多忙感があることが大きな課題となった。そこで、「家庭や地域連携と体験活動のシステムの構築」と、「活動の意義や地域連携の価値を共有」を研究の視点として取り入れ、改善及び情報交流を杵島郡副校長・教頭会全員で進めてきた。児童生徒が家庭や地域と無理なく双方向に感謝したり、参画したりするようマネジメントすることが、持続可能な連携活動につながり、児童生徒の発達を継続的に支援することにつながると考える。杵島地区の児童生徒の地域社会への貢献についての意識を調べるため、令和６年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあるか。」の回答結果を分析したところ、学習の中で、地域の人とのかかわりを大切にしたり、学習したことを地域へ発信したりするなど交流活動の意義を明確にしてきた学校の数値が高いことが分かった。

３年次である今年度は、持続可能な家庭や地域との連携を推進するため、副校長・教頭としてどのようなかかわりや取組が効果的で必要であるのか実践をもとにまとめたい。このことが副校長・教頭としての業務改善にも寄与し、地域・学校全体の発展につながると考える。

(4) 視点における実践と副校長・教頭としてのかかわり

① 防災教育に関する小中連携での行事について(大町ひじり学園)

本校は、令和元年と令和３年に大雨による大規模な水害が起きた。そこで、本校では防災教育に関する取り組みを地域の協力を得て行っている。ここで、本校の行っている防災教育の２つの取り組みを紹介する。

１つ目は、６、７年生における防災対策の講話と避難所体験学習である。大町町役場総務課と日本レスキュー協会佐賀県支部「MORE WAN」の協力を得て実施している。その目的は、避難所体験を通して、日常的な備えの大切さに気付かせることと、避難所で状況に応じて自ら動ける人材の育成を行うことである。避難所体験については、避難所で使用する段ボールベッドの組み立てと片付けを行った。

【写真１】避難所体験学習

２つ目は、全校児童生徒が行う緊急時集団下校と緊急時引き渡し訓練である。集団下校では、１～９年生が地区ごとに集団でそれぞれの地区まで下校をする。その際、ＰＴＡの協力を得て、地区役員が引率をし、通学路の危険個所を児童生徒と確認を行った。引き渡し訓練では、災害等で保護者が迎えに来ることを想定して訓練を行った。

【写真２】緊急時集団下校

どちらの取り組みも健康安全部の職員が中心となって計画の立案、地域との打ち合わせ等を行い実施した。防災対策の講話と避難所体験学習は担当者と役場職員が直接連絡を取り合い、打合せを行っている。教頭としての役割は、担当職員の相談に乗り、必要に応じて支援をすることである。また、緊急時集団下校では、ＰＴＡの地区役員への引率の依頼、緊急時引き渡し訓練では、地域住民への周知を行った。

教頭として、これらの取組の意図を理解し、教職員にもその意義を伝えていくと同時に、地域や保護者と共に子ども達を育成していくように整えていきたい。

【写真３】緊急時引き渡し訓練

② 有明地区３小学校の統合について

有明地区の小学校は、来年度３校（有明南小・有明東小・有明西小）が統合する。有明地区３小学校が閉校し、統合した有明小学校が令和８年４月に開校する。現在、統合に向けて児童の交流はもとより、教職員の合同研修会、有明小学校ＰＴＡ発足のための話し合いなど、様々な立場の人たちが新設小学校のスタートに向けて、協力し合っているところである。有明地区３小学校の閉校、そして、新設小学校の開校という機会が、児童の成長につながるよう様々な活動に取り組んだ。

ア 新設有明小学校の地域人材活用

有明地区３小学校は、これまでそれぞれの小学校で地域人材を生かした活動を行ってきた。５月の第1回学校運営協議会では、活動の中心となる協議会委員と各担任とが顔合わせ、及び年間の打ち合わせを行う場を設定し、その後は担任と協議会委員とが日程や内容などスムーズに調整、実施できるようサポートしてきた。今回統合に際し、これまで各小学校で行ってきた地域人材を生かした活動を継続、発展するように３小学校の教育活動一覧表（資料１）を作成した。作成においては、近隣ではあるが集まっての作業を行うには教頭業務の多忙な中で大変なため、リモートで打ち合わせを行い、Googleドライブで資料を共有して作業を行った。令和７年度は、新有明小学校で取り組む活動を決め、関係するゲストティーチャーや保護者への依頼などを行い、スムーズに地域人材、地域教材の活用ができるように進めていきたい。

イ 有明地区３小学校合同ふれあいコンサート

新有明小学校の校歌を作詞・作曲された弓削田健介さんの「いのちと夢のコンサート」が、白石町のふれあい郷で有明地区３小学校の全校児童が参加して開催された。事前に、校歌の歌詞に入れてほしい言葉についてアンケートがとられていたため、児童の白石町や有明小校区に対する思いをくみ取り、歌や語りで伝えられたコンサートだった。児童同士が互いに交流し合う場面はなかったが、故郷への思いを感じ合い確認することができた機会となった。

【写真４】合同ふれあいコンサート

(5) 副校長・教頭としてのかかわり

家庭や地域との継続的な連携・協働を進めるにあたって副校長・教頭として取り組んだ役割は以下の通りである。

① 「地域連携年間計画表」の作成及び次年度に向けた検討・修正（カリキュラムマネジメントの機会と場の設定）

毎年度担任が変わる中で、スムーズに活動が展開されるよう計画の修正及びブラッシュアップを実施できる体制を構築している。

② 学校運営協議会を中心として、学校・家庭・地域が連携する活動を実施するためのコーディネート

地域等との活動を実施するにあたり、副校長・教頭は、各学校に設置されている学校運営協議会で年間計画について説明を実施している。活動開始時には連絡調整の窓口となり、活動のねらいが十分に共有できるよう支援を行った。あわせて進捗状況の確認や担任からの相談を受けやすい環境を作り、担任が負担感なく地域等との連携を進められるよう努めている。

(6) 成果

○副校長・教頭としてのかかわりによって、児童生徒を中心にした活動の高まり

○児童生徒、職員の地域参画力の向上及びそれによる職員全体の業務改善と校内地域連携の強化

5 今後の課題

●これまでの連携のよさを、統合で広域となる地域でどのように調整・再構築していくか

新有明小学校 地域人材（GT，ゲストティーチャー）・地域教材・保護者との教育活動一覧表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	西	交通安全教室		いも苗植え 老人会		歯みがき指導 （在宅歯科衛生士：門田さん）		佐農高ポニー乗馬 小動物とのふれあい体験	いも掘り 老人会		昔遊び （老人会）		
	東	交通安全教室 下校見守り		給食試食会 （PTA）	平和集会 （町内の方）				佐農高ポニー乗馬 小動物とのふれあい体験				
	南	交通安全教室	夏野菜苗植え	給食試食会（PTA） 芋さし			冬野菜種まき		佐農高ポニー乗馬 小動物とのふれあい体験		昔遊び （老人会　祖父母）		
2年	西	交通安全教室		手紙の書き方 （郵町郵便局） 町探検PTA			歯みがき指導 （在宅歯科衛生士：門田さん）	町探検 ＰＴＡ					
	東	交通安全教室		町たんけん	平和集会 （町内の方）								
	南	交通安全教室	夏野菜苗植え	町たんけん PTA			冬野菜種まき		町たんけんPTA 歯みがき指導 （歯科衛生士：辻さん）				
3年	西	交通安全教室			豆栽培農業体験 JA		歯みがき指導（在宅歯科衛生士：門田さん）	スーパーマーケット見学（ピック）	大豆収穫体験 JA		味噌の小分け作業 JA		
	東	交通安全教室	社会科見学	歯磨き指導 社会科見学及び田植え体験	平和集会 （町内の方）								
	南	交通安全教室	地域を知ろう （自然・祭り・昔のこと）					地域の達人に学ぼう					
4年	西	交通安全教室			干潟体験		歯みがき指導 （在宅歯科衛生士：門田さん）	親子料理教室 （食改協）					
	東	交通安全教室		干拓のくらしについての話（地域の方）・歯磨き指導	干潟体験 平和集会 （町内の方）		竹に関する授業	干拓の歴史についての話 （場教育委員）	高洲川ダム見学 食育クッキング （食改協）		等体験（近隣イシ子様）		
	南	交通安全教室	白石の名所を知ろう						地域の伝統芸能を体験しよう（伝統芸能） 親子料理教室 （食改協）				
5年	西	交通安全教室		代掻き 田植え （JA青年部）			歯みがき指導 （在宅歯科衛生士：門田さん）		稲刈り（JA青年部） もち作り体験（万歳台） 弁護農林事務所	もちつき もち米料理 （PTA/食改協）	志教育 （IMARI共育センター：福井様）	情報モラル講話 （ITサポート佐賀）	稲算種付け体験 福佐の森を育てる会
	東	交通安全教室		種もみ蒔き・どろんこ大会（代掻き）・田植え（保護者）	PTAお楽しみ会 平和集会 （町内の方）			家庭科（麹経ボランティア）	稲刈り（保護者）	しめ縄体験 （千拓老人クラブ）	等体験（近隣イシ子様）餅つき（保護者・PTA本部）防煙教室（学校薬剤師）	みそ作り（ＪＡ女性部）	
	南	交通安全教室		田植え（ＪＡ青年部保護者）					稲刈り（ＪＡ青年部保護者）			もちつき PTA、JA	
6年	西	交通安全教室			租税教室 （税務署）	歯みがき指導 （在宅歯科衛生士：門田さん）				防煙教室 学校薬剤師	薬物乱用防止教室 学校薬剤師		
	東	交通安全教室		租税教室 （県税事務所）	大豆種まき 平和集会（町内の方） PTAお楽しみ会					味噌づくり （JA女性部）	餅つき（保護者・PTA本部）薬物乱用防止教室（県警）		
	南	交通安全教室	平和について考えよう			租税教室 （税務署）			防煙教室 （学校医）		薬物乱用防止教室 （薬剤師）	もちつき PTA、JA	
特別支援学級	西	交通安全教室											
	東	交通安全教室											
	南	交通安全教室	夏野菜苗植え									買い物学習をしよう （地域のお店）	

【資料１】有明地区３小学校の教育活動一覧